

第3期 堺市北区政策会議 第1回 会議録

日 時：令和7年6月9日（金）14時から15時54分まで

場 所：堺市北区役所3階302会議室

出席者：

【構成員】（敬称略）今野裕光、小川愛理、加我宏之、坂江祥衣、辻 美代子、中村 誠、野田 誠子、紅谷昇平、増田紀夫、水野雅司（以上10名出席）

【事務局】鈴木敏文（区長）、原田明美（副区長）、市川行則（北区役所部理事 区域活性化調整担当）、辻本多美子（北保健福祉総合センター所長）、花田智夫（新金岡地区活性化推進室長）、曾根勝（自治推進課長）、至田義朋（地域福祉課長）、宮田大志（子育て支援課長）、藤井裕子（北保健センター所長）、樋口年秋（堺市社会福祉協議会北区事務所長）、藤本浩一（堺市社会福祉協議会北区事務所地域活動推進係長）、本池茂（企画総務課長）、光斎かおり（企画総務課総括参事役 区政推進・人材育成担当）、辻林伸浩（企画総務課課長補佐）、鳴海祐哉（企画総務課企画係長）、佐藤裕子（企画総務課）

会 議：公開会議

傍 聴：傍聴者数0人

1 開会

2 区長あいさつ

○鈴木区長 皆様、こんにちは。開催に当たりまして、少しご挨拶させていただきます。

平素は、北区行政運営にご理解とご協力賜りまして、誠にありがとうございます。また本日は、皆さん本当にお忙しい中にもかかわらず、こうして参集いただきまして誠にありがとうございます。

今回から第3期堺市北区政策会議第1回目が始まります。第2期から継続の構成員様4名に加えまして、8名の方が会議に参加していただくことになり、パワーアップし、私も非常に期待しておりますので活発な意見をいただきますようよろしくお願いいたします。また、新しい方々のご紹介につきましては、後ほど担当よりさせていただきます。

この北区政策会議は、北区の実情や特性に応じた北区ならではの区行政を実現するため、構成員の皆様からご意見を頂戴する場となっております。令和5年10月から令和7年3月までの第2期では、「北区みんなのまちビジョン」に掲げる将来像、「いろんな『たのしい』でつながる街 北区」を実現するべく3つの方針に基づき、魅力、子育て、防災に関して議論いただきまして、様々な施策の検討や改善を行ってまいります。また、現ビジョンも継続期間が令和8年、来年の3月をもちまして終了することから、次期ビジョン策定に向けたアンケート調査に関する事、今後重要となる視点や基本的な方向性などについてご議論いただきました。

第3期では第2期まで進められてきた議論を引き継ぎまして、現ビジョンの基本方針に沿って施策や取組が推進されているかどうか、また北区課題解決や区民ニーズに応じたものになっているかなど、皆さんに評価、ご意見をいただきまして、併せて次期ビジョンがより地域の実情に合った実効性のあるものとなるよう議論いただきたいと思います。

構成員の皆様におかれましては、いろいろな立場から活発なご意見をいただきたいと思いますので、何とぞよろしくお願いいたします。

会議の開催に当たりましてご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 構成員紹介

○事務局（鳴海企画係長） 続きまして、第3期初めての会議となりますので、構成員の皆様のご紹介をさせていただきます。名簿順に構成員の皆様をお一人ずつご紹介させていただきます。事務局がマイクをお渡ししますので、構成員の皆様には一言ずつご挨拶をお願いします。

大阪公立大学学長補佐 現代システム科学研究科教授、伊藤構成員です。なお、伊藤構成員におかれましては、所用のため本日欠席となっております。

今野農園、さかいSDGs推進プラットフォーム会員の今野構成員です。

○今野構成員 今野裕光と申します。所属は今野農園と農家をしております。ちょうどこの近くで、今日も朝から田植をまいりました。「ふらっと北区」の冊子にも今野農園の直売所があることから掲載させていただいておりますので、またよかったらご一読いただければと思っています。以上です。よろしくお願いいたします。

○事務局（鳴海企画係長） 大阪公立大学 ボランティア市民活動センター学生スタッフ、小川構成員です。

○小川構成員 小川愛理です。大阪公立大学の3回生をしまして、加我先生と同じ農学部緑地環境科学科で学んでおります。初めてのことでいろいろ分からないこともあると思いますが、よろしくお願いいたします。

○事務局（鳴海企画係長） 大阪公立大学農学部 緑地環境科学科教授、加我構成員です。

○加我構成員 大阪公立大学の加我でございます。先ほど小川さんから少しご紹介ございましたが、農学部の緑地環境科学科で、専門は造園学、それから都市計画のほうにアプローチしてございます。第2期からということで、また引き続きということになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（鳴海企画係長） 公募構成員の坂江構成員です。

○坂江構成員 坂江祥衣と申します。金岡南校区のキャンディキャンディという子育てサークルで代表を何年かさせていただいております。私も第2期に引き続きということで、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（鳴海企画係長） NPO法人 さかい民間教育保育施設連盟 幼保連携型認定こども園 五ヶ荘保育園園長、辻構成員です。

○辻構成員 五ヶ荘保育園で園長をしております辻と申します。民間保育園連盟から代々園長が出させていただいております、引き続きでお役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（鳴海企画係長） 大阪公立大学 ボランティア市民活動センター学生スタッフ、中田構成員で

す。なお、中田構成員におかれましては、所用のため本日欠席となっております。

続きまして、中百舌鳥駅前通商店街振興組合理事長、中村構成員です。

- 中村構成員 中百舌鳥駅前通商店街振興組合の理事長をしております中村と申します。今回ご縁がありましてこの場に参加させていただくことになりました。初めてのことなので、いろいろ教えていただきながら、意見など言えるところは言っていきたいと思っております。よろしく申し上げます。
- 事務局（鳴海企画係長） 公募構成員の野田構成員です。
- 野田構成員 野田誠子と申します。前回の第2期に引き続き、今回も構成員をさせていただきます。現在4人の子どもを育てながら家事代行のスタッフをやっておりまして、育児支援ヘルパーという産後のお母さんの支援にも行っていますので、現場の声を届けられたらと思っております。よろしく申し上げます。
- 事務局（鳴海企画係長） 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科准教授、紅谷構成員です。
- 紅谷構成員 兵庫県立大学の紅谷昇平と申します。防災に関する研究や人材育成に取り組んでおります。大学は兵庫県なのですが、子どもが生まれる前、北区の金岡町や中百舌鳥の辺りに住んでおりまして、職場が兵庫県で近いところに引っ越しました。今日北区に来てすごく懐かしくて、少しでも防災に関して恩返ししたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。
- 事務局（鳴海企画係長） 北区さかいボランティア連絡会副会長 金岡校区民生委員児童委員長、増田構成員です。
- 増田構成員 増田紀夫（としお）と読みます。なかなか呼んでもらえない名前なのですが、私は今ご紹介ありましたように、北区で活動しておりますボランティアグループのお世話係の連絡会の副会長をさせていただいております。地元は金岡校区で、ご紹介ありましたように民生委員児童委員の委員長をさせていただいております。今回、全国の一斉改選が3年に一度の年に当たっておりまして、どうなるか分かりませんが、ボランティア、それと民生委員活動の立場から何かコメントできたらなと思っております。よろしく願いいたします。
- 事務局（鳴海企画係長） 中百舌鳥校区自治連合会会長、水野構成員です。
- 水野構成員 皆さん、こんにちは。中百舌鳥校区の水野でございます。連合会長以外にも、「長」とつくのが好きなほうなので、たくさんさせていただいております。今増田委員長がおっしゃっていましたように、私も中百舌鳥の民生委員児童委員の委員長をやっております。また、校区の福祉委員長もやっております。もう一つ、防犯委員長もやっております。「長」のつくのが大好きなので、「長さん」と呼んでいただいても結構でございます。ひとつよろしく願いいたします。

4 事務局紹介

「事務局から事務局のメンバーについて紹介」

5 会議報告

「事務局から配布資料の確認、会議の公開についての説明、傍聴人数の報告」

6 議事

- 事務局（鳴海企画係長） 次に、案件1の座長及び職務代理者の指名に移らせていただきます。座長

の選出につきましては、堺市北区政策会議開催要綱第5条の規定により、構成員の互選によって選出することとなっております。皆様、いかがでしょうか。ご意見ございますでしょうか。

○坂江構成員 坂江でございます。第2期から参加させていただいておりまして、座長の選出についての意見ということで、都市計画について深い知見をお持ちで、第2期政策会議でも座長を務めていただきました加我先生が適任かと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局（鳴海企画係長） 皆様、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○事務局（鳴海企画係長） ありがとうございます。それでは、加我座長、座長の席に移動をお願いします。以降の議事進行につきましては、加我座長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○加我座長 では、今回第3期ということで新しくお集まりいただいた皆様、また2期から引き続きの皆様から、今般、座長ということで選出いただきましたので、お引き受けしたいと思います。改めまして、大阪公立大学の加我でございます。よろしくお願いたします。自己紹介を含めて少しお話をさせていただきます。

私は第2期というよりも、第1期から参画をさせていただきます、本日議題となっています「いろんな『たのしい』でつながる街 北区」「北区みんなのまちビジョン」を、この会議の前につくらせていただき、第1期2期の間にその進行管理ということで、いろいろなアクションが北区で行われていることを皆さんと一緒に確認をして、次への課題ということを議論させていただきました。前回ビジョンの策定に関わったということで、もう一度関わるようにということで、第3期もということだと思います。

今年度、令和8年3月までが現計画での目標年次となっておりますので、皆さんと共に、次の期へ向けてということで、ここで集まりの皆様が北区で楽しく過ごせるよう、暮らしをよりよくしていくためにということで、行政、区の役割、区役所だけでということではほとんど達成することはないかと思っておりますので、区民の皆様が関われることを1つでも多くアイデアとして取りまとめていきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をお願いしたいということと、ここでの議論も活発にしていいただければと思います。

私、農学部の緑地環境科学科というところで、本日うちの学生のボランティアセンターからの推薦の小川さんと共に、毎日田植とか耕作をしているということではありませんが、「農」の側面から、人と自然との関わりのもとに私たちの食料を生産する、そうした大事な取組を少しでもまちや都市にというようなことを生かせれば、専門でいいますと造園学、身近なところで公園の設計や計画、公園の使い方であったりだとかということを一歩に、まちに関わっていくということをしています。

毎日学生と共に意見交換をしていることも通じてということと、私、何を隠そう北区の三国ヶ丘駅と堺市駅の間に住んでいますので、一区民として、一市民としてというようなことの見聞も踏まえながら議論ができればと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

では、議事のほうを進めてまいりたいと思っております。まずは、堺市北区政策会議要綱5条第3号により、座長の職務を代理する者を座長があらかじめ指名することになってございます。私としましては、中百舌鳥校区自治連合会会長として地域に精通しておられます水野構成員にお願いしたいと思います。水野構成員いかがでしょうか。

○水野構成員 私であればさせていただきます。

○加我座長 ありがとうございます。それでは今期、水野構成員、どうぞよろしくお願いいたします。職務代理の席のほうにご移動をお願いいたします。では、一言お話を。

○水野構成員 大変な役を仰せつかりました。先ほど「長」と言っていたんですけど、これには「長」がついていないのですが、でも頑張っってやっていきたいと思っておりますので、皆様方のご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○加我座長 ありがとうございます。では、よろしくお願いいたします。

それでは、案件の2、本日の本題でございます。これまでの取組と令和7年度の新たな取組について、説明を事務局からよろしくお願いいたします。

○事務局（鳴海企画係長） 資料2、これまでの取組と令和7年度の新たな取組をご参照ください。

第2期北区政策会議では、「北区みんなのまちビジョン」に掲げる将来像「いろんな『たのしい』でつながる街 北区」の実現に向け、基本方針に係る施策や戦略、次期ビジョン策定に向けたアンケート調査などについてご意見をお聞きし、様々な取組を行ってきました。主な取組について、幾つかご紹介させていただきます。

「魅力」のテーマでは、北区役所公式Instagramで北区の魅力情報を発信し、フォトコンテストを実施しました。

「子育て」のテーマでは、パパ同士の交流会の意見から誕生したパパ向け子育て冊子を発行し、子育て中の方の生の声を広報紙やホームページなどで、みんなの子育て体験談として発信しました。

「安全安心」のテーマでは、防災コンテンツを集めた「北区みんなで防災ホームページ」の開設や、「わが家の防災アイデア」コンテストを行いました。

そのほかの取組としては、区民参加型の健康啓発「はっぴーすまいるプロジェクト」をスタートさせました。はみがきうさぎに堺市北区応援大使に就任してもらい、北区子育てフェスタでのダンス披露などを行ってきました。

最後に、次期ビジョン策定に向けて区民意識調査アンケートを行いました。その結果を参考に、基本的な方向性や今後重要となる視点に関してご意見を聴取し、次期ビジョンの方向性についてご議論いただきました。基本的な考え方や将来像を簡潔にするほうがよい、健康増進といった視点が欠けていたかもしれないなどのご意見をいただきました。

アンケート調査結果や議論を踏まえた次期ビジョン骨子案の詳細については、次の案件でご説明させていただきます。また、第2期のまとめ資料を参考資料としてお配りしておりますので、お時間のあるときにご参照ください。

令和7年度の新たな取組としては、区民参加型の企画やイベントの実施などにより、区民や民間事業者等と連携して、3つの基本方針、魅力、子育て、防災に沿った取組を引き続き進めてまいります。

まず、魅力に関する取組としては、ドローン空撮コンテストです。多くの方が興味関心を持つコンテンツを発信するため、北区の魅力を空から発見する動画の募集を行います。コンテストの結果をホームページや

ユーチューブ等で発信し、ふだんとは違った視点の北区の魅力をPRします。空撮スポットとしては、公園、神社、文化財、田園、大和川河川敷などを候補地として検討しています。なお、実施時期は秋頃を予定しています。

また、北区公式インスタグラムの認知度を向上させ、みんなで北区の魅力を広げるため、オリジナルキャラクターのキタクマ君がデザインされたインスタグラムへ誘導するQRコードポップやステッカーを区内の様々な場所で掲示する取組を進めています。現在、イオンモール堺北花田店の一部店舗や、区内の飲食店で掲示をしています。今後も区内の様々な事業者の協力をいただきながら、掲示していただける場所を増やしていきたいと思います。

次に、子育てに関する取組としまして、はみがきうさぎと連携した北区オリジナルダンスの創作を予定しています。お口の健康啓発と併せ、住民同士のつながりが感じられるよう、幅広い年齢層の方が親しみやすいメロディー、かつ踊りやすいダンスを創作します。今年度の子育てフェスタにてオリジナルダンスの披露を予定しています。

最後に防災に関する取組としまして、無関心層にも防災意識を高めてもらい、防災を自分事として捉えてもらうために、「北区みんなで防災ホームページ」へ誘導するQRコードポップやステッカーを区内の様々な場所で掲示する取組を進めています。ポップの背面には、「命をつなぐ水 1人当たり3リットル×最低3日分を備えていますか」や「大震災被災時、支援物資が届くまで3日以上かかります」などと掲載しております。こちらにつきましても、現在、区内のウエルシア薬局5店舗やイオンモール堺北花田店の一部店舗での掲示をしています。引き続き、区内の様々な事業者のご協力をいただきながら、掲示していただける場所を増やしていきたいと思います。

これまでの取組と令和7年度の新たな取組につきまして、事務局からの説明は以上となります。

○加我座長 ありがとうございます。これまでの取組に加えて、令和7年度の新たな取組ということでご説明いただきました。

なるほど、見たことあるということと、そうなの？みたいなこともあろうかと思います。私もインスタグラムの北区のキャラクターがキタクマ君であることを今日知りましたこのようなことを踏まえて次のビジョンを整えていくということになるかと思いますが、特に7年度の新たな取組ということについて、皆さんのほうからご質問、ご意見等があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

○野田構成員 まだ企画の段、というのは、古墳などふだん見れないものが見れていいのかなとも思うのですが、ドローンってテレビでは見ますが、市民には一般的に身近に見たことがあるとか触ったことがあるという方はあまりいないように思います。ドローンの業者さんに空撮をもらうコンテストなんですか。質問です。

○加我座長 事務局のほうよろしくお願いします。

○事務局（鳴海企画係長） 今回の空撮コンテストですが、業者に委託しまして、ドローンの空撮をやったことがある方を募集し、そこに応募があった方で、区内6か所程度のスポットを選定しまして、撮影していただくということを想定しております。

○野田構成員 ドローン教室みたいなものをされているところが長曾根町にあるのは知っているのですが、どれ

ぐらいの業者さんが参加してくださるのか今の時点では分かりませんが、業者さんがしてくれるのはとてもいいのですが、それを見るだけになるとどうしても他人事というか、身近に感じられのではと思ってしまいました。例えば空撮する日をイベントのようにし、「ドローンを見れるよ」とか、せっかくなので子どもが触れるような体験コーナーがあるとか、何らかの形で、そういうスポットに区民の方に来ていただいて魅力を現地でも知ってもらい、それプラス、後からこういう動画が撮られているというのをユーチューブで見て、また違う魅力に気づいていただけるような、業者さんだけのものにならないような取組や工夫をしていただけたらいいんじゃないかなと思いました。ありがとうございます。

○加我座長 いかがでしょうか。

○事務局（鳴海企画係長） ありがとうございます。確かに野田構成員のおっしゃるとおり、ドローンを撮影する側のことは考えていたのですが、確かにドローンが一般的かと言われたら、皆さんが身近に接してというところはない部分だと思います。せっかく空撮コンテストということで撮影等をしますので、ほかの方にも知っていただく機会ということで、今後も考えていけたらなと思います。

○加我座長 ありがとうございます。よくテレビでもNHKを中心に「世界遺産を空から」みたいなこともあります。北区に世界遺産はありますね。

○鈴木区長 あります。

○水野構成員 仁徳御陵。

○加我座長 仁徳御陵さんは北区ですか。

○鈴木区長 堺区です。北区にはニサンザイ古墳と御廟山古墳があります。

○加我座長 世界遺産の近くですので、それだけでなく新たな魅力をということでいきますと、ちょっと高いところからぐっと下に近づいていくというのは非常に魅力的な画像になるうかと思えます。せっかくの機会ですので、そこでの体験ということもプラスアルファしていただけるとより充実するのかなと思います。

でも、ドローンって市街地はなかなか飛ばせないのではなかったでしょうか。

○水野構成員 免許が要るのですか。

○加我座長 免許はまず要りますね。首相官邸をくると飛んだときから厳しくなりましたので。

○鈴木区長 ドローンは、おっしゃったように物によって免許が要るのですが、免許の要らないものもありますので、そういったものを飛ばすというのはいいかなと思うのですが、今座長がおっしゃったように、確かに今ドローンは市街地ではどこも飛ばせないです。そこは許可を取っていかねばいけませんので、その辺は事務局のほうで調べて、所有者の許可を得て飛ばすとか、そういうのを考えたいと思います。

○加我座長 なかなか体験できないことではありますし、動画にもなるうかと思えますので、いろいろな許可を克服していただいて、みんなが「そんなふうに見るとこんなに格好いいんだ」ということが思えるような取組になればというふうに思います。ほかにございませんでしょうか。

○今野構成員 同じような意見にはなると思うのですが、先ほどのドローンのことで、少しドローンをいじったことがありますのでお話しできればと思っています。

まず、野田さんがおっしゃっていたように、区民参加型のところを少し意識していただければ、私たち区民のほ

うが置いてけぼりにならないような取組になるのかなというふうには感じております。

私はドローンの免許を持っておりまして、何グラム以上は飛ばしてもよいが、ただ高度は決まっているということがあったり、あとは電波のことであったりと、飛行機のこととか、とても複雑になっておりまして、恐らくコンテストをするような動画を撮るのであれば、品質のよいもの、つまり重さがある、許可が要るものでないと動画はつくれないので、一般の方が簡単に飛ばせるようなものではないのかなと思っております。私も近くでドローンを操作したり、子どもたちがしているのを見たことがありますけどドローンを見るというのも、とても面白い企画なので、そういった壁を、ぜひ越えていただいて、区民が参加できるような、見ること、触れることというのはぜひ取り入れていただきたいなと思っております。少し壁が高いかもしれないですが、楽しみにしておりますので、有識者の方を招いてお話しできればと思っていますので、よろしく願いいたします。以上です。

○加我座長 ぜひとも楽しみにしておりますので、どうぞよろしく願いしたいと思います。

まだ時間は十分あるのですが、こうした取組も踏まえてビジョンをということになろうかと思っておりますので、資料のほうも次の話題で使いながらということを進めてまいりたいと思っておりますので、次期ビジョンの骨子案とそれに向けた今までの検証ということも含めて、まずはご紹介いただいて、ここも含めて振り返りたいと思っております。

では、次期ビジョン骨子案のほうもご説明をよろしく願いいたします。

○事務局（鳴海企画係長） 説明させていただきます。資料 3、次期ビジョン策定スケジュールをご参照ください。

第 2 期北区政策会議では、次期ビジョンを見据えたアンケート調査事項やビジョン改定の大枠の方向性についてご議論いただきました。これまでのご意見等を踏まえ作成しました次期ビジョンの骨子案につきましては、後ほど皆様にご提示の上、説明させていただきます。本日、骨子案に対するご意見を頂戴し、参考にさせていただきながら計画案を作成いたします。

計画案については、10月頃に開催予定の第 2 回北区政策会議でご議論いただいた後、ご意見等を踏まえてさらにブラッシュアップし、12月頃に開催予定の第 3 回北区政策会議で改めてご議論、ご確認いただきたいと思います。その後、区民の方からも広くご意見を募集し、反映させまして、令和 8 年 3 月に次期ビジョンの策定を行う予定です。

構成員の皆様方におかれましては、次期ビジョンが区民にとって親しみやすく、また区の特長や課題を踏まえた、より実効性のある内容となるよう積極的にご議論いただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、第 4 回北区政策会議は、令和 8 年 5 月頃に新ビジョンに基づく施策や取組などをテーマに開催したいと考えています。

次に、資料 4、次期ビジョンに係る主な見直し項目一覧をご参照ください。お手元にお配りしております現ビジョン概要版も一緒にご参照願います。

こちらは、現ビジョンからの主な変更項目と見直し理由についてまとめたものになります。資料に基づき、順に説明させていただきます。

まず、ビジョン名は「北区みんなのまちビジョン」から「北区はっぴー・すまいるビジョン」とし、現ビジョンの前向

きな表現を引き継ぎ、より明るく親しみやすい表現にしたいと考えています。

基本理念ですが、区政策会議で「基本的な考え方が簡潔になるのは分かりやすくよい」とのご意見をいただいたことも参考に、現行の「すべての人が住みたい街、ずっと永く住みたい街」から「みんなが住みたい・住みたい北区」とし、簡潔な表現にしたいと考えています。

将来像ですが、現行の「いろいろな『たのしい』でつながる街北区～『たのしい』が出会い、つながり、『たのしい』で続く街～」は、区民意識調査における認知度が約 2 割であったこともあり、認知度のさらなる向上のため現ビジョンの表現を簡潔化したいと考えています。また、将来像をイメージしやすくするため、「はっぴー」と「すまいる」を追加し、「『たのしい』でつながる北区～『たのしい』が生まれ出す、『はっぴー』と『すまいる』～」にしたいと考えています。

次に「さくせん」ですが、現行の漢字の「戦略」からひらがなの「さくせん」に見直しを行うことで、幅広い年齢層の方に理解していただきやすいのではないかと考えています。区民意識調査における北区の魅力向上、課題解決のために区民ができることについては、「情報に関心を持つ」や「情報を誰かに伝える」といった回答が上位でした。さらに地域活動への参加条件では、「興味関心を持てる地域活動がある」「友人などからの誘いがあれば」という回答も多くありました。そのため、区民が楽しいでつながるための行動の道筋を、まずは関心を持ってもらい、次に活動に参加する、そしてその楽しさを伝えるという循環をイメージし、3つの「さくせん」として示すこととしたいと考えています。

最後に基本方針ですが、前向きで柔らかいイメージを持ってもらうため、基本方針自体を「はっぴー・すまいる」という表現に見直したいと考えています。また、様々なつながりの「輪」や、和やかな雰囲気「和」がイメージできるように、ひらがなの「わ」をキーワードに親しみやすい表現にしたいと考えています。そして今回、基本方針に「健康増進」を新たに追加したいと考えています。区民意識調査において、参加したい地域活動については、「健康づくりに関する活動」が上位であったことや、区政策会議での健康増進に着目すべきとのご意見を参考にさせていただきました。

続きまして、資料 5、次期ビジョン骨子案をご参照ください。ただいまご説明いたしました資料 4 の見直し項目を反映させたものになります。

資料 5 の上から、ビジョン名を北区「はっぴー・すまいる」ビジョン、基本理念を「みんなが住みたい・住みたい北区」としています。

その下に住民ニーズの多様化等の社会情勢、堺市 7 区の中で最大の人口といった 5 つの北区の特性、人口減少や健康への関心の高まりといった北区の課題を掲載しています。

資料中段に北区の目指す将来像として、「『たのしい』でつながる北区～『たのしい』が生まれ出す、『はっぴー』と『すまいる』～」としています。

その下に、「たのしい」でつながるための道筋として 3 つの「さくせん」を記載しています。さくせん A、「たのしい」を探す・「たのしい」に関心を持つ。さくせん B、「たのしい」に参加してみる・「たのしい」をつくる。さくせん C、「たのしい」を伝え合う・「たのしい」を広げるとし、3 つの「さくせん」のつながりによる循環をイメージしています。最後に、住民サービスや地域の魅力向上といった区役所の役割を踏まえ、北区の課題解決に向け、「さく

せん」に沿って進める4つの基本方針を示しています。基本方針自体を「はっぴー・すまいる」と表現し、上から、チームでまもる地域の安全・安心の「わ」、笑顔あふれる子育ての「わ」、いろんなコラボレーションでつくる・つながる魅力の「わ」、多様なコミュニティで呼びかけ合う健康増進の「わ」とし、その下にそれぞれの主な取組内容を記載しています。

なお、表現については、簡素化したりひらがなにしたりと大きく変更しておりますが、現ビジョンの基本的な考え方や将来像、基本方針などは継承しており、引き続き北区の将来像「たのしい」でつながる北区の実現に向けて施策や取組を推進してまいります。

次期ビジョン骨子案につきまして、事務局からの説明は以上となります。

- 加我座長 ありがとうございます。お手元のほうに現ビジョン「北区みんなのまちビジョン」の概要版と冊子版とが置かれているかと思います。今日、資料5のほうで骨子案、目次立てというものを整理いただいて、今後肉づけをしていき、現ビジョンの形態にということでございます。先ほど振り返りもさせていただきながら、特にアンケート調査の結果も踏まえながらということで、議論をしてみました。特に健康増進に関する内容は、基本方針として追加ということもございますけども、今までも健康への関心の高まりということはあったかと思いますが、特にこの辺り、子育て、防災ということに加えて、新しいことではございませんが、健康ということを新たに付け加えてございます。循環するだとか、うまく回っていくみたいなことで円の絵はあったかと思いますが、改めて「わ」ということを、多様な意味を使いながら書き加えてはどうかということでございます。

では、「こんなこともあるのではないかとか、例えば「こんなことをやっています」とか、毎日の生活の中でこんなことに困っているのですが、これはどうですかということも踏まえて、資料2のことも構いませんので、ご意見、アイデア等をいただければと思います。いかがでしょうか。場合によっては、資料に即してはませんが、こんなこと思いついたのですがなど、でも問題ありません。

では、坂江さん。

- 坂江構成員 坂江です。資料を拝見、お話を伺って思いついたことを3点ほど申し上げたいと思います。まず、資料2にあります新たな取組の北区オリジナルダンスの創作ということですが、私、4歳と6歳のこどもがおりまして、一緒に前回の子育てフェスタに参加したのですが、その中ではみがきうさぎのイベントがこどもたちにとって非常に楽しい体験だったようで、会場もすごく盛り上がっていました。純粋に楽しかったね、面白かったねというような記憶をこどもたちに残しながら、歯磨きしてね、口の中を大事にしてねという大切なメッセージを同時に伝えるというのは、こどもたちの記憶に刻むという観点からとても有効なアプローチなんじゃないかなと感じております。楽しかった記憶や、実際に自分が体を使った記憶というのは残りやすいです。親しみやすい音楽とリズムに乗せた動作というのは、反復性が高いというか、こどもは気に入ったら何回でもまねをしますし、未就学から小学校低学年ぐらいの発達段階のおこさんには特にぴったりだと思います。できれば、一過性のイベントだけではなくて、事あるごとにどこかのイベントでやっているような継続的なものになるといいなと思います。

歯の健康ということに関しては、学校の歯科検診とかでよく、それを通じて家庭環境に何らかの課題があるおこさんが見えてくることがあるということを聞いております。ご家庭の状況によっては、歯磨きのような基本

的な生活習慣が後回しになるケースがあると。いろいろな理由で、歯磨きというごく普通であるべき習慣が組み込まれていないこともたちというのがやっぱりいます。たとえ家庭環境の関係で歯磨きの習慣がつかなかったとしても、家庭以外のこういったいろいろな場面で、何度も何度も「お口の健康を大事にしてね」というメッセージを送り続けるということが意識づけにつながっていくのではないかと思います。

今回ははみがきうさぎなのでお口の健康がテーマですけれども、口の健康から食べ物の方につなげて食育とか栄養とか、逆に衛生の方につなげて手洗いうがいとか、なんかこう広がる可能性を感じるなと思いました。ほかのテーマにいろいろと応用していけると思います。堺には「堺っ子体操」という広く長く愛されている体操もありますので、同じように愛されていくダンスにできればいいなと思いました。

2点目です。「みんなで防災」ホームページのQRコードのポップ、ステッカーをいろいろな場所で掲示という取組についてなんですけれども、こちらの第2期の会議でも出た、せっかくいいコンテンツがあるのにあまり知られていないという問題点に対して、すごく有効なアンサーだと受け止めております。いわゆる単純接触効果と言われるように、人は何回も目にするものに対して親しみを感じやすい傾向があるということで、小さめのポップやステッカーであれば、売場とか休憩スペースのベンチとかテーブルとか、ふとしたタイミングで目に留まりやすい場所に設置できます。そこですぐこのQRコードを見るかといったら、そのハードルはもちろんあるのですが、いろいろなところに設置することで、最近このポップよく見るなどか、行政は防災に力を入れているのかなといった印象を持ってもらえるということが大きな意味を持つのではないかなと思います。

広報というのは本当に難しく、広報紙だけ読む人もいっちゃうし、Instagramだけしか見てないという方もいっちゃうし、アンテナを立てているところって人それぞれなので、手を替え、品を替えいろいろなやり方で、何度でも繰り返し目に入るようなやり方で多角的に発信していくということが大事だなと考えております。ある人がふと防災に意識が向いたときに、そう言えばステッカーを見たような気がするなと思い出してもらえたり、あと水や防災用品の売場で、「そう言えば、うちには備蓄ないな」など、そういうふうにおやっ」と立ち止まるきっかけになるのではないかと感じました。

3点目の新ビジョンについて、漢字の戦略をひらがなの「さくせん」に変更というのがありまして、これはなかなか興味深い変更だなと感じました。ひらがな表記というのは、柔らかく親しみやすい一方で抽象度が上がって内容がぼやける、難しいところだと思います。親しみやすさと、責任ある具体性というバランスをどう取っていくかということですけど、私はこの「戦略」と「さくせん」に関しては面白いと思いました。「戦略」というところ、どうしても組織的な図り事です。戦いに勝つため、目的を達成するための大局的な大規模な方策というようなイメージがありまして、ビジョンとしては行政がまちをよくするために戦略を練ったという感じで、主語が行政になると思います。一方で、作戦というのはもうちょっと小規模でも使える言葉で、もっといいまちにするにはどうしたらいいかという、主体が区民一人一人まで下りてくるみたいな雰囲気があって、それがひらがなにされることで親しみやすさがより強調されているなというふうに感じました。上から押しつけられて何かをするというのではなくて、特に難しいことをしなくても、自分が楽しそうだと感じたことに関わってみることが結果的に北区の活性化につながっていくという、そういうイメージが伝わるといいなというふうに感じました。ありがとうございます。

○加我座長 ありがとうございます。私自身、行政計画に携わることが多いので、どうしても「行政が」になって

しまいます。「戦略」でいいのではないかと思っていたのですが、確かに「さくせん」ということでいきますと、みんなが取り組めるということになろうかと思います。ありがとうございます。

すみません、先ほどのキタクマ君って今どこにいるのですか。どの辺りで今配布されていますか。

○事務局（本池企画総務課長） 今年の年度末ぐらいにインスタをPRするためにポップをつくろうということで進めておまして、そのときにポップに掲載するイラスト、キタクマ君というのはどうだろうという提案を受け、ポップに掲載して今広めていこうという取組を始めたところなんです。まだ今は先ほど申し上げたようにイオンモール北花田と、あと幾つかの店舗で展開を始めたところなので、今日は商店街の方々もいるので、ぜひ協力いただければと思います。お願いします。

○加我座長 年度末からで、始まったところだということですので、今日皆さんにも持って帰っていただいて、場合によっては区のほうにご連絡いただき、入手していただき、いろいろなところで広めていただければと思います。手を替え品を替え、だと思しますので、どうぞ協力よろしく願いいたします。続いて、いかがでしょうか。

○増田構成員 子育てに関する取組の項目のところで感じたことをお話しさせていただきます。金岡校区では子育てサークルが各地区で5つ活動しています。金岡町と長曽根町。それぞれに世話人さんがいらっしゃって、1年間の計画を北区の保健センターや子育てアドバイザーの皆さんと相談しながら、いろいろなメニューで活動をしています。それと併せて我々、金岡校区にボランティアグループがあり、ボランティア金岡という約50人弱のグループですけども、年間を通じて、お年寄り、就学前のおこさん、小学生、それから施設訪問とかいろいろやっており、子育てに関しては小学校で子育てフォーラムなどを開催しています。その中で5つの活動をしているサークルさんのお世話係の方も来ていただいて、いろいろな活動のメニューなどを、参加されている皆さん方にお話しするのですが、後半、未就学児を別に我々が面倒を見たりしている時間帯に、年齢別に父兄の方だけがグループになっていただいて情報交換をしています。これがこの催しの大きなテーマで、家庭で一人で子育てをしている悩みとかもその場でいろいろ情報交換していただける。これは我々の反省点でもあるのですが、アンケートなどもやっているのですが、それが反映されていない部分があって、終わったらそれで終わりなんです。今この計画案を拝見させていただいたら、動画とかSNSでもっとPRできないのかなと。子育てサークルの活動しているところが金岡だけで5サークルですので、ほかにも北区にもっとたくさんあるはずだと思います。動画の撮影許可さえ取れば、アップする承諾さえもらえれば、もっと広く情報が発信できて、各グループでどんな声が上がったのか、子育てでこんなことで苦労したとかいう話や悩みも、自分だけの世界ではなしに、共有できる情報として発信してもいいのかなと、この計画案を見て思いました。

資料5にありますように、骨子案の中の基本方針の中にありますその2、「笑顔あふれる子育ての『わ』」の中に保護者同士の文言も入っています。交流の場の創出ということですので、金岡校区だけで終わってしまうのではなく、ほかの校区でもこの校区ではこんなやり方をしていてこんな意見が出ているのか、こんな悩みを抱えていたなどを、手段として、行政のほうから発信をやっていただくしかないのかなと。我々はそういう催しを企画して実施するまでで終わってしまいますが、アンケートの振り返りの中でそれが次に反映されるとか、他の校区への発信とか、また他の校区からの情報を受け取るという機会がもっとたくさんあってもいいのかなと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。校区の中での、そのときの集まった方々での交換ということと、みんなで関わる子育てのまちということで、知識ゼロから分かるパパの子育てとか、子育ての悩みQ & Aとか、それからみんなの子育て体験談等も情報発信をされているかと思いますが、その辺りの反響みたいなことはいかがですか。

○事務局（宮田子育て支援課長） 子育て支援課、宮田です。

パパのほうは、パパの育児参画ということで冊子のほうも作らせていただき、ホームページに掲載させていただいている状況もありまして、全国的にといいますか、他の都道府県の方からもお問合せをいただいたり、使わせていただけないかというような反響もいただいております。

Q & Aのほうにつきましては、我々の子育て支援課でやっています「A S O B Iじかん」という、保護者の方、おこさんが一緒に来ていただいている事業の中で、今、増田構成員がおっしゃっていただいたようにいろいろなご意見が出ていますものを、参加していただいていない方にもお知らせすべきじゃないかという発想のもとで作らせていただいた冊子となっております。それをアレンジしまして、広報のほうでも発信させていただいているということになっておりますので、おっしゃっていただいている意見のように、いろいろな形でいろいろな方に情報が広く届くように今後も努めていきたいと思っております。

○加我座長 校区での役割と行政、区役所の役割等あるかと思しますので、双方でということだと思います。次は中村さん、よろしいですか。

○中村構成員 先ほどキタクマ君と防災のステッカーの件で話が出ていて、商店街でということで話が出ていましたので、意見を言わないといけないなと思っておったところ名前が出ましたので、やはりそうだなと思いました。せっかくいいステッカーなどがあっても、目につくところでたくさん見てもらわなければ、ただ作っただけになると思います。中百舌鳥の商店街は今飲食店を含め3 4店舗あります。場所は駅前のところからちょっと1本外れますが、人がよく待機になる踏切のところから3 1 0号線のところのデイリーカナートさん、スーパーのところの一本道のところが商店街ということで、車も人も自転車もお店も、これは中百舌鳥という形でやっているんですけども、そこに貼らせていただけたら目につくのかなというのが1点思いました。

あと、商店街のほうでは毎年11月の第二日曜日に、中百舌鳥駅前の北側ロータリーの横で中百舌鳥の商店街フェスというイベントがありまして、小さなおこさんのダンスの発表や堺市のフリーミュージシャンの方を呼んだり、時には公立大学のサークルの方に来てもらったり、小学校の吹奏楽の方にも来ていただいたりだとかで11時から18時ぐらいまで開催しているステージのところ、今日私も初めて知った「はみがきうさぎ」に今でもすぐに依頼したいなと思っています。可能であれば、このような人の集まる場所に出て、どんどん拡散していくことで、歯磨きだけではない生活の部分に必要な部分をもっと市民や住民の方に知っていただくということが、商店街にとってもそういうことも気にしながら活動や運営をしているんですよという意味も含め、行政さんと商店街の関係性としてもいいのではないかなということをおもいました。

もう一つ、3月の第四火曜日に、これは自治会といいますか、水野会長さんがいらっしゃいますが、尼塚（あまつか）グラウンドという中百舌鳥のふとん太鼓がある太鼓会館があるグラウンドのほうで、ちょうど大阪場所の時期に、力士さん呼んでイベントをしています。そういうところにも「はみがきうさぎ」に出ただけ

のではないかなと。私からはその2つはぜひ検討していただけたらと思っています。

- 加我座長 この会議、実はそのつながりが一番大事だと思いますので、どうぞよろしくお願いします。
- 辻構成員 先ほどから出ていましたインスタグラムとかも、私自身も申し訳ないですが見たことがないという状況で、帰ってまた見たいなと思っているのですが、インスタグラムであったり子育ての悩み、Q & Aのブック等も、園長会のほうで行政の方からいただいたりはしますが、保育園、こども園なので、たくさんの子育て世帯の方が利用されている施設なのですが、たくさん冊子を配布されて園側がいただいたりすることはあまりなくて、1つは保護者さんたちがどちらのほうでこれを手にとられるような場所があるのかなということです。例えば保育園、こども園なんかですと、冊子にQRコードはついていますが、行政のほうからQRコード等の情報がいただければ、たくさん世帯に園を通して拡散し届けることもできるなと思っています。堺市が出されている「わくわくスタート堺っ子」という、小学校に入るまでにこういう準備をしたり、不安なことはこんなふうで解消したらいいですという冊子も、最近は冊子ではなく園のほうにURLを送っていただくので、そちらのほうを保護者さんにメール等させていただいてご案内しております。行政の方と、私たち連盟に入っているところだけで言いますと23カ所ぐらい連携も取れる状況にはあるので、いろいろなところで、そのような情報発信についても連携を密にしていけたらいいのかなというふうに今の現場の立場から感じました。

もう一点が子育てフェスタのオリジナルダンスの披露についてですが、こども園、保育園、幼稚園などに対して、事前に園の中で取組ができるような、例えばはみがきうさぎが来てくれて一緒にダンスをすとか、動画をいただけたらとか、そういった取組なんかを既に考えていらっしゃるのかという質問をさせていただけたらと思います。子どもたち、一度やったことがあるとか知っているということは、とても興味関心がありますし、フェスタに行ったときに園でやったことがある、知っている、見たことがあるというものはすごく楽しんで参加できると思うので、もし可能であればそういった取組もご検討いただけたらなと思います。

- 加我座長 ありがとうございます。「はっぴー・すまいる」のほうはいかがですか。
- 事務局（鳴海企画係長） 今年度の子育てフェスタでオリジナルダンスの創作をこれから目指してやっていますが、子育てフェスタだけでいきなり踊っても誰も知らないですし、踊れないということはもちろんございますので、先ほど辻構成員がおっしゃったとおり、事前に皆さんに知っていただくような動画を作成しまして、事前に何らかの形で知っていただいた上で、子育てフェスタで皆さんに踊っていただけたらなと考えております。
- 加我座長 よろしく申し上げます。それから、商店街との連携もよろしくお願ひしたいと思います。

続いて、いかがでしょうか。

- 今野構成員 私からは意見というか、つながりはあるのですが、2つ目の資料のインスタグラムと防災ホームページというところについて意見を述べていただければと思っています。私自身もインスタグラムをしまして、インスタグラムで農園の直売所を広報していて、インスタグラムの反響って非常にすごくて、インスタグラムで少し発信すると、例えば先日であったらヤングコーンを収穫して販売したんですが、その1つを投稿するだけでいろいろな方が、私で言うとフォロワーの方が1,700人ほどいらっちゃって、その1,700人に一斉に配信され、全員が北区の方ではないですけども、この近辺の方が今とりたてのヤングコーンを買いに行きたいということで、結構農園に来てくださることが多くて、非常に農園の戦略としては有意義かなと

思っています。

どこかの講習でお聞きしたのが、インスタグラムのフォロワーであったり、情報を見るにも有益な情報を常に常に載せていく必要があって、例えば更新が止まる、あるいは自分に有益でないと判断されると、やっぱり疎遠な関係になってしまうので、常に何か手を打ち、防災のホームページもそうですけれども、仕事として考えられない、私も含めて防災について日頃から考えていると言われるとそうではなくて、でもこのホームページの中には非常に有益な情報が載っていて、行政としてもここを皆さんに見ていただきたい。でも、区民の方はなかなかそこに手が伸ばせない。いろいろなところに掲示があって、それもすごくいいきっかけで、そこから私自身もなかなか無関心なところもあって、そこに有益な情報があるかないかと判断したときに、それをピッと携帯でするかという、なかなかその一歩ってすごく難しい。

私たちといいますか、これもちょっと変な話、農業界で有名なインスタグラマーとかもいまして、そういう方がよくやっているのは、北区のほうでも以前されていたと思いますが、プレゼント。例えば、ホームページやインスタグラムを見て何かをするとプレゼントがある、だからまずは登録しようであったり、見てみよう、それに対してコメントを書いてみよう、そういった形でも、ちょっと動機的には不純になるかもしれないですが、きっかけにはなると思います。そういった手法は恐らくたくさんあって、その一歩、その次に何か有益な情報を見いだす。という有益な情報のところをたくさん工夫することで、フォロワーであったり、ホームページの見てくださる方というのは非常に多く増えると思いますので、ぜひその工夫をしていければいいのかなと思っています。

それとも含め、子育ても先ほどインスタグラムで広報を含めてできればとおっしゃっていましたが、本当にそのとおりだと思っています、なかなかサークルに参加できない保護者の方って多いと思います。私自身2歳と4歳の2児の父で、私たち共働きをしております。最初の子どもが生まれたときに子育てサークルに行ったのですが、なかなか情報がなく、友だち伝いに「このサークルがあるから一緒に行ってみよう」であったりでしか情報は得られなかったのですが、そこで情報を得るための手段として北区のインスタグラム等を利用なさら、非常に多くの方に知っていただくことができると思います。気軽に参加できて、そこで先ほどもおっしゃった保護者同士のつながり、これが私も一番大事だと思います。

私自身ではないのですが、妻が実際に行って、そこで子どもを遊ばせようとしても、なかなか子どもが遊んでくれないで帰ってきたという話をよく聞きました。今話をすると、共感してもらって友人ができるかできないかというのが非常に大きくて、私とも話はするのですが、私では立場が少し違うからか、話は私も聞くのですが、なかなか同じ境遇の共感というのができなくて、頼りない父なのかもしれないですけども、でもそのときに友だちができたという話を聞いて、その友人と子育てに関する悩み事を、同じ年の子どもを持ち、そのこどもの話をすると、すごい心がすっきりしたというふうに話を聞いたことがあります。この保護者同士のつながりというのも非常に大事だと思っていますので、その取組も含めて、まずは来ていただくことということで、インスタグラム等も利用できるというふうに私も思います。

○加我座長 ありがとうございます。続いて、いかがでしょうか。

○増田構成員 今の今野さんの意見をお聞きして思い出したのですが、子育てフォーラムをどなたかから聞いて参加している方はその場にいらっしゃいますけど、お友だちとかの口コミだけで来ている方がほとんどかなと。

だから、その催し自体があるということも分からない。情報が限定されていて、お友だち同士の中では分かるけど、それ以外には全然伝わっていないというのが我々の今懸念しているところの1つです。

北区の公式インスタグラムですが、私はずっと見ています。6月4日に見ていたらフォロワーが3,660ほどありました。ほかの区よりは物すごい多いと思います。3,600を超えているというのは。投稿も1,300ほどあります。数字が上がってたんですね。見ている人は結構見ているのですが、そこへ行くまでのつながりというか、きっかけがなかなかつかめないといえますか、行政のほうもそうでしょうし、受け取る側のほうも接点が少ないんじゃないかと。これは行政のほうでそのような機会をどんどん増やしていただかないのかなと思います。

それともう一点、防災のほうで感じたことをお話ししたいのですが、確かにこのステッカーなんかは有効だと思います。人の多いところへ貼り出したりして、目につくところで啓発するというのはいいのですが、我々金岡校区で毎年3月に、年間1回ですけども、小学校の体育館やグラウンドを使って避難訓練をやっています。けれど、来る人は限られています。限られているというか、もう顔ぶれが決まっています。だから、この冊子のほうにもありましたけど、地域活動に参加している方って2割ほどしかいないというアンケートが出ていたけど、ここが物すごい問題だと思うのです。もっと地域活動に参加してもらわないといけないような施策をどんどん打ち出していただきたいし、きっかけさえあれば参加しますという方も結構な割合いらっしゃる、潜在的な人はいらっしゃるというのがこのアンケート結果の中に反映されていますので、きっかけさえあれば、土日であれ、本当は体を休めたいと思いますけど、行こうかなという気にさせるという。防災でもただ消火訓練をすとか、AEDを使って体験すとか、それ以外にいろいろな催しも兼ね合わせた中で、こども連れで来ていただくようなこともすれば、絶対に親は来ます。だから、そのような展開をこのビジョンの中ではどのようにお考えなのか。地域の自主防災活動への支援とか、防災に関する知識を習得し理解を深める取組の実施と書かれていますけど、これからもっと具体的なところが出てくるのだと思いますが、そちらのほうに内容を期待したいと思っています。感想です。

○加我座長 ありがとうございます。

○野田構成員 まず、「みんなで防災」ホームページの店舗につけてもらっているポップに関してなんですが、北花田のイオンモールや、あとウエルシアとおっしゃいましたか。つけてもらっているということだったんですけど、みんなで防災のコンテスト中に私がいろいろ投稿していた中ですごくコメントで反響があったのは、100均で買える防災グッズという投稿をしたんです。どうしても防災のものが、長期保存できる食品も高いし、突っ張り棒とか防災グッズはいろいろあるけど、何せお金がかかるという印象が強く、日々忙しい中で、防災のことに予算を割いて家で対策していこうとなかなか動き出せない方が多いのかなという印象だったんです。その中で、100均でこんな売っていたよという投稿をするとすごくコメントがついたりしたので、防災のグッズが意外と100均にもあるので、100円ショップにもつけてもらうともいいと思いますし、あとローリングストックという点で言うと、乾麺だったりレトルト食品とか、その辺のちょっと賞味期限の長いものの売場にということであれば、スーパーでもお願いしたらつけてもらうことは可能かなと思います。とにかく、防災という防災グッズ、長期保存でとか、そうなる売場がすごく限られてしまうので、もっともっと身近に、これも防災で取り入れていける

んだと思わせるような形で、いろいろな売場とか対応できそうな店舗があれば、随時協力を依頼して広げていってもらいたいのかなと思いました。

あと、先ほどからいろいろ子育てのことが話題になっておりますけども、私は今、中百舌鳥町に住んでいるので、中百舌鳥のほうで子育てのサークルに参加させてもらっていたりもしたのですが、中百舌鳥に住む前は金岡町におりましたので、今でも金岡町の子育てサークルのお手伝いに、幼稚園に入って卒業はしたんですけども、お手伝いに行かせてもらったりしています。サークルのほうで来られているお母さん方を見ていると、金岡町は特に5つもあるので余計だと思うのですが、どこのサークルに行っても同じ方が来られていて、はしごで来られています。やっぱり来る人というのは、お仕事をされていなかったりとか、育休中だったりとかで平日が空いている人という感じになるので、同じ顔ぶれの方が違う場所にも来ている、また会ったねという感じが多くて、今しもつ池の団地とかが取り壊してマンションになったりとか、どんどん建て替えが進んでいる時期だと思います。団地がどんどん老朽化しているので。となると、住民がどんどん入れ替わっていくんです。しもつ池の方も建て壊しになるということで、ほかのところにお引っ越しされた方がいっぱいいらっしゃって、残るという方のほうが少なかったです。私が聞いたときは、という感じで入れ替わっていている最中で、これからもそうだと思います。

特に北区は御堂筋沿線なので、便利ということで、どうしても共働き世帯の若い方が来られる可能性が高い特性にもあるように思います。となると、お母さんが昼間働いていて保育園に預けて、土日だけパパと家にいるというパターンになると、育児サークルは育児サークルでももちろん大事で、そのまま存続はしてほしいんですけど、それと別で土曜日、日曜日に親ごさんがおこさんとかほかのご家族とお話ができるような、交流できるような機会というのをもっとも増やしていかないといけないかなと、北区は特に思います。

今されている北区の取組の中でも、パパの育児の冊子、これは「ジブン進化88号」という広報で見ましたけど、土曜日とかのパパが来れる日にやっていたと思います。このような取組がもっとも増えてほしいなと思います。子育て広場でも、1か所、2か所ぐらいは、月に1回土曜日開けていますというところもありますが、スタッフさんの問題とかもあると思いますけど、土曜日にもうちちょっと開けてもらえるところが増えてもいいかもしれないし、何かそういう形でお父さん、お母さんが働いている場合にも対応できるような場をもっとつくっていけるようにしてもらいたいかなというふうに思いました。

○加我座長 ありがとうございます。紅谷先生、よろしくお願いします。

○紅谷構成員 防災関係の話が続きましたので、関連して少しコメントさせていただきたいと思います。

まず北区自体は、防災の専門家の私が昔住んでいたぐらいなので、近畿圏の中でも防災のリスクは結構少ない地域だなというふうに思っています。水害に関しては、西除川の辺りが時々あふれたりとか、避難勧告が出たりというのは私も記憶がありますけれども、それほど大きな水害のリスクがあるところではないと。津波も来ない。なので、リスクとしては内陸直下型といいますか、上町断層が動くとその揺れが一番大きいという、地震が最大の脅威かなというふうに思っています。

その上で北区の特徴を踏まえると、やはり「マンションが多い」ということで、今ホームページを見させていただいたらマンション向けの講座もされていて、マンションの対策となると、どうしてもマンションの居住者というよりは組合単位で関わってもらったほうがいいので、組合単位で参加してもらえようなところであるとか、あるい

はマンションの組合単位で備蓄用品に対する補助など、小学校に避難してこずにマンションで何とかしてもらえような対策をしてもらおうというのは、地震のときの北区全体の避難所への負担を考えると、非常に大きな効果になるのだらうなと思いました。

マンションがなぜ大事かということと言うと、町内会の話があまりなく、私は昨年度までの4年間はお隣の堺区の政策会議で防災のことをやっていたのですが、向こうは町内会の話や高齢者対策が話の中心で、こちらはこどものほうが中心で、やっぱり地域性があるのだと思っていました。北区では町内会の話があまりなく、町内会が大事というのは、高齢者を助けるではなくて、実はファミリー層にとって、元気な高齢者がいる町内会は大事だというふうに感じています。

なぜかと言うと、私の1人目の子どもが生まれたときに、北区に住んでいたんですけど、東日本大震災が起こる直前に生まれて、東日本大震災ときに3か月だったんです。人と防災未来センターというところで働いていて、子どもを置いて東北に行くときに、私がないときに地震が起こったらどうなるのかなというのはすごく不安でした。そうなると、町内会の人に助けてもらわないといけな。です。で、本当は小さな子どもがいるファミリー層で、かつ共働きで両親ともこの地域にいない家庭、そういう家庭というのは、大きな地震があると帰ってこれないわけですから、子どもを保育園とか幼稚園に預けたままどうするかという問題が出てきます。不安になって子どもが行っていた保育園に話を聞くと、子どもを連れて近くの小学校に行きますと。ただその小学校は、倉庫を開けてもらって中を見たことがあるのですが、全然食料の備蓄がありませんでした。保育園さんも子ども用の備蓄はなくて、帰ってこれなかったら子どもの食料を備蓄しているところはないなというのを当時思った記憶があります。

今現在、保育園や幼稚園が、それこそ親が数日帰れないということも想定して、小学校も学童さんとかも含めて対策しているのかどうかというのは存じ上げないんですけども、北区の特性から言うと共働き家庭等も多いし、区外に働きに行っていることと言うと、親が帰ってこなくても大丈夫なのか、そういうときの対策はしているのかどうかということと、やはり中百舌鳥とかは帰宅困難者や帰宅困難となる児童さんとかも出てくる可能性があるんで、帰宅困難者対策というのは、ターミナル駅の商業施設などと連携して対策を考える必要があるんじゃないかなというふうに思いました。私からは以上です。

- 加我座長 ありがとうございます。私も長らく北区の政策会議のほうに関わらせていただいていたいて、紅谷先生がおっしゃっていただいたように、本当に安全なところなんです。西除川の問題はありますけども、堺区に比べると津波がということがございますけれども、そうした場合に、有事が発生した場合にみんながばらばらになるというようなこと、私も想像できなかったところで、防災ということはずっと発信し続けないと忘れてしまうということだと思います。ありがとうございます。そうしたときに帰宅困難ですよね。帰ってこれないというようなことも想像してということで、日々の取組といいますか、情報発信が重要だというふうに思います。
- 小川構成員 子育ては自分がする環境になってないのでまだ分からないですけども、住みやすさのところの1人当たりの公園面積が広い、満足度が高いというのがあったと思うのですが、私はずっと小さいときから、生まれたときから北区に住んでいるんですが、子ども目線からしたら公園面積が広くて満足って、私の地域は金岡南校区なんですけど、思ったことがあまりなくて、周りの友だちとかも公園少ないよねみたいなイメー

ジが大きかったので、大人とかだと大泉緑地が近かったり、大泉緑地が大きいから面積が広がっているだけで、そこに満足というのが、自分の今までの認識とちょっと違うなと思いました。

防災は昔、地域の避難訓練に参加したときに、すごい人口の多い地域なので備蓄はしておいてもらわないと、備蓄倉庫には全然満足できる分がないからというのを言っていたのが記憶にあるので、そういうことも発信できる、避難訓練に参加しなくても知ってもらえたり、子どもが小学校とかに通っていたら、プリントとか配付されたら見ると思うので、それで伝えていく方法はないのかなと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。おっしゃっていただいたように、北区でも公園は偏りがあるかと思います。

1人当たりの公園面積が堺の中でも多いほうというか、南区に次いで北区が2番で、ですが北区は全国的に見てそんなに裕福かというそうではなくて、1人当たり公園面積が8平方メートルぐらいだったと思います。その中で、大泉緑地、金岡公園があって、新金岡の団地は計画的に公園が配置されてきたところでございますので、堺の南の泉北ニュータウンと同じくということと、随時市街地整備に伴って公園を整備してきたところですよ。申し訳ありませんが、金岡南、金岡というのは元来公園が少ないところですが、オープンスペースと田畑があって、菅池、森池、長池といった池があってというような自然豊かなところではございます。本当に公園が満足しているのかどうかというのは、これはちょっと怪しいところではございますけれども、せっかくある公園をうまく満足してもらえらるというようなことが、子育ての場でもあり、子どもが育つ場でもあろうかと思えます。

今日もしかしたら配付されたのかもしれませんが、子育ての視点からということで、子育てママが紹介する身近な公園、安心して遊べる子どもたちの遊具のある公園というようなことをご紹介していただくパンフレットを作っていたかと思えます。みんなうまく活用していただいて、公園もうまく使っていればなと思えます。

水野さん、最後いかがでしょうか。

○水野構成員 皆さんから貴重なご意見等々をお聞かせいただきました。防災に関しまして、小学校にある防災倉庫には、我々が教えられているのは、食料品を備蓄しては駄目だと聞かされています。ですから、一切我々の校区には食料品は備蓄しておりません。炎天下にさらされたりして物が腐ったりとか駄目になってくる場合があるということで、だから備品等々の関係のものは、もうこぼれるぐらい備蓄しています。食料品はいざという場合は、北区のほうから配送していただくという形の防災訓練をとっております。ただし緊急で、先ほどおっしゃってましたように、小学校へ各自治会の方々が集まって防災訓練をみんなで一緒にする場合、最後には炊き出しとしては持ってきて皆さんに食べていただく。それは備蓄米ではなしに、緊急にその日に行くということで、提供していただいて食べていただきます。本当は食料品等々など、水は備蓄するのが当たり前だと思うのですが、その点はまた校区のほうで一度検討していきたいと思えます。役所のほうにも確認をとってきたいと思えます。防災に関してはそういうお話でございます。

それと子育てのほうも、私も中百舌鳥の自治会の会長を10年やっておりました。その間に、私どもの公民館の3階に、たしか新金岡か金岡のどちらかの子育てルームがたくさんあるので、そこで弾き飛ばされてどこにも行くところがないので、役所のほうから「中百舌鳥さん、公民館3階が空いていたら貸してくれませんか」ということで、10年ちょっと前にお話がございまして、お貸ししましょうということで借りていただきました。3階のフ

ロア全部です。全部といいましても、こどもさんの遊べるところはそんなに広くはないのですが、最初は月曜日から金曜日まで5日間やっておりました。1年の間に一万五、六千組ですか、お子さん。もう毎日のごとく自転車やベビーカーがひっきりなしに来まして、理事長とか先生方が悲鳴を上げていました。いつお昼を食べるのだろうと思っていたのですが、時間は10時から午後3時までです。ひっきりなしに出ていたのに、ちょうどコロナになったときに入れられなくなって、予約制となって、午前5組、午後5組とかそういう状況でされていました。コロナがなくなりまして、その後、今は完全に予約制でやられています。子育てルームでございますので、決して保育園じゃないので、預けてお母さん方が帰るということはございませんので、保育園や幼稚園みたいなことはないのですが、でも和気あいあいと楽しくされているのはたまに見せていただきますし、中百舌鳥子育てみんなの広場のところの理事長さん、先生方は、私どもの校区で年に1回行きます小学校の5年生と遊ぶ「遊ぼう会」に出演していただきまして、未就学児を喜ばせていただきます。周りの保育園の方々も応援に来ていただきまして、年に1回、校区で子育ての遊びをしております。

それ以外には、各自治会等で子育ての支援をしている在宅のボランティア、また福祉委員さんがされております。そういう形で、我々の校区のほうも各種団体の委員さんに活動していただいております。先ほどからいろいろなお話等々をお聞かせいただきまして、本当にありがとうございます。初めてでございます、どんなお話が出るのか、どういう意見が出るのか、意見を言わないといけないのか、お聞きするのか、こんなことやってほしい、こんなことやったらいいのにと、ということを次から十分考えてまいりたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

○加我座長 ありがとうございます。ほかに、今日言い残したこと。

○増田構成員 何回もすみません。北区はほかの区に比べて、65歳以上の老年人口が一番低いと。堺市7区の中で最も低い、24.6%という数字が出ているようですが、できましたら7年度からの取組の中で、魅力に関する取組、それからインスタグラムの関係、子育てに関する取組、防災に関する取組の中で、高齢者向けの施策を付け加えていただくわけにはいかないかなという気がしております。

内容的には、どちらかといいましたら若い人ばかりが対象になっているような気もしないこともない。日本全国であと10年、9年ですか、その頃には3人に1人は65歳以上という時代を迎えるわけですし、私は常々思うのですが、少子化と高齢化がキーワードだといつも思っております。その中で、高齢者に対して何かお示しできるような施策は、ここでは全然イメージがつかめないといいですか、どんなことを考えておられるのかよく分からないと思いますので、その辺のところもどこかに反映させていただけたらなと思っております。これは要望ですけども。

○加我座長 ありがとうございます。少子高齢化は前期の第2期のときもそうですが、転入の方々で生産年齢人口の割合が最も高い、最多の出生数で子育てということと、みんなが健康で生き生きと暮らせるということになりますと、私も言っているのですが高齢のということで、幅広い年齢層の健康増進を目的とした多様な機会の創出というようなところも充実していくということで、全世代にということが重要になってこようかと思えます。今日の骨子のところでは「高齢」という言葉は出てきませんが、次回、この中でどんな展開をしていくのかということが、冊子版にありますように展開されていこうかと思っておりますので、そのときにこどもということと若者と

いうことと、成年のということと、高齢のということの多世代の世代にとってということでチェックしていただければと思います。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

- 野田構成員 すみません、最後になんですけれども、公園のお話があったと思います。北区は意外と公園が多いという実感がないということで、そういう方もいらっしゃるかなと思います。アンケートの結果、北区の冊子（北区みんなのまちビジョン）の50ページとかで見ると、公園という項目は、公園をはじめとする緑、自然などの豊かさというふうに書かれていまして、公園だけで聞いているわけではないのです。

ちょっと思いましたのが、ちょうど今野さんもいらっしゃることで、意外と畑とかが多いと思います。さらに言うと、46ページにも、北区はできる限り地元でとれた食材、食品を食べているという割合が堺市7区で7位、最下位というふうに出ていましたので、その辺を考えると、農園とか畑とかに行かせてもらって収穫をするようなイベントとか、地域の人と一緒に田植が体験できるみたいなイベントとかをやることで、公園だけでない緑、自然を感じてもらい、それプラス地元の食材を食べることにつながる、そこからさらに健康につながるということで、もっともっと広げていける要素があるのだと思います。活用し切れてないだけかなというふうに感じたので、まだまだ伸び代があるということで、頑張っていけたらなと思いました。

- 加我座長 ありがとうございます。先ほど西除川がございましたけれども、北側には大和川があって、西除川があって、神社さんがあって、公園があって、南のほうに行けば金岡の田畑があり、大泉緑地の東側にも八下の田畑がありというようなところが、一揃い揃っているのが北区の魅力かなというふうに思っています。それも土砂災害がというようなことの危険がなく、安全な場所であるということだと思います。できる限り地元でとれた食材、食品を食べているということの地産地消も非常に可能性のあるところだと。今野さん、何か抱負等ございますでしょうか。これから目指しているところ、期待すること。

- 今野構成員 行政へですか。

- 加我座長 行政へもそうですし、ご自身でも。もっとこんなふうに見てもらったら、私らもっと生きるのにみたいなことでもいいです。

- 今野構成員 農園に訪れてくれる多くの方は、こんなところあったんやというのが正直な感想だそうです。私たちがすると当たり前だったのが、ちょうど場所で言うと大泉緑地からもう少し北のほうになるかな。

- 加我座長 大泉緑地の南。金岡高校の近所では。

- 今野構成員 南かな。金岡高校の真裏のほうに当たりますので、その中環から1分ほど自転車で走ると緑が広がっていて、ただそこに訪れる方というのは、なかなか目的もないと訪れることがないというので、恐らく多くの方は、北区に畑や田んぼがあるということは、あまり知られていないのかなというふうにも思っています。

私自身の取組としては、私が就農して今でちょうど5年経過したところで、6年目に入るところなのですが、就農してから2年目、ちょうど4年前ほどから畑の前で直売所を始めました。通常は納品先があり、それは大阪府内の消費者の方に届けるような地産地消を目指した出荷先で、それよりももう少し北区の地元の中で食べていただけるということで、私も直売所を始めております。意外と直売所というのが北区にも多くて、「ふらっと北区」を見ていただくと、ちょうど一番後ろのページ、真ん中のちょうど右側のところに今野農園、その

上にかなたマルシェ、芝野農産物、夕農園、山本農園、芝尾さんちのおいしい野菜、左側で言うと南区の朝市、このほか北のほうに行くと西井農園直売所など、意外と多いです。ただ、なかなか知っていただくきっかけがなくて、これは北区ではなく私自身で言うと、市役所の農水産課のほうと少しお話をしたりして、スタンプラリーを企画していただいたりとかはしています。何か北区でイベント等があれば、農園の仲間はたくさんいますので、一緒にできればと思っておりますし、私の父の代の取組で、今止まっているのか詳しくは分からないんですけども、金岡校区で田植を小学生、中学生、地域の方を招いてする企画等をしておりましたが、コロナの事情で中断しております。今もどうなのかな、詳しくは。

○増田構成員 芋掘りとか。

○今野構成員 芋掘りもしています。そういった団体が、今かなたマルシェだったかな、名前を変えてしております、そこを中心にしていきますので、そこが発信も含めて不十分な部分もあるかもしれませんが、発信していく予定にもなっておりますので、そこと北区のほうで何かコラボができれば、もう少しこういった地元の魅力を発信すること、地元の食材を北区で消費していただけるというような取組につながるのかなと思いますので、ぜひとも農園、北区、この場の皆様のお知恵をお貸しいただいて、イベント等ができればいいのかなと思います。どうしても1人2人でできるような規模ではできないので、田植等も。たくさんの方の協力、それこそ区民の方に参加していただいて、ボランティアを含めて参加していただくことにもなると思いますので、ぜひともお知恵をいただければと思っています。ありがとうございます。

○加我座長 ありがとうございます。「ふらっと北区」をもう一度見ていただいて、それぞれの資源、魅力がキラキラ光るといのが大事だと思いますので、さっき今野さんにご紹介いただきましたように、大泉緑地の南側、東の八下地域もそうですし、南側の金岡地域ということになりますと田畑も広がるということで、生産があり、それから数々の魅力がありということ、ちょっと一杯飲みに行くみたいなことと、中百舌鳥駅前通り商店街もぜひともということで、今後、中百舌鳥駅の北側もいろいろ動きがあるというふう聞いてございますので、都市魅力の最大化ということになりますと、歴史から田畑、それから人工施設をということで磨きがかかっていければというふうに思っております。

では、そろそろ時間が参りましたので、次回、今日の骨子に基づいて中身のほうをよりブラッシュアップといいたいか、充実させてということで議論をしてみたいと思います。今日は一定、骨子のほうの細かな文言といところよりも、新たなアイデアということといただいたかと思っております。おおむね今日の資料5に基づいて進めていくということで、皆さんの合意は得られたのかな、大きな反対はなかったのかなというふうに思います。「はっぴー」と「すまいる」、それから戦略ではなく「さくせん」であって、今までも循環ということとございましたけど、これは改めて様々つながりの「わ」であり、和みの「わ」ということでサイクルを描いていくと。

私はこの「わ」でいきますと、つながりの輪と和みの輪と、あとは話の輪も私はもう一個使うんですけども、今日のようにみんなで話をする、これはもしかしたらSNSを通じてということの会話から始まり、実際にフェイストゥフェイスで話をするということがあって、つながりであり和みに、和みがなければ話も進まない、話があれば今日のように新たな情報のうまい活用の仕方みたいなことで展開していくのかなというふうに思っておりますので、これは北区役所というよりも、皆さんにもお願いしておきたいなというふうに思います。

では、今日の資料等をご確認いただいて、意見交換の時間はここまでにしたいと思います。

それでは、本日の会議の次第は全て終了しましたので、ここまでにしたいと思います。事務連絡等、事務局に進行をお返しします。

○事務局（鳴海企画係長） 構成員の皆様、本日はありがとうございました。本日いただきましたご意見を参考に骨子案について再度見直しを行った上で、計画案の作成を進めたいと思います。また、現ビジョンに掲げる将来像「いろんな『たのしい』でつながる街 北区」に向けた取組も進めてまいりたいと思います。

次回は、次期ビジョン計画案についてご意見をいただきたいと思います。10月頃に開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の北区政策会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。